

第1回町田市下水道事業計画評価懇談会における意見及び対応一覧

No.	意見内容	対応	該当箇所																				
1	施策Ⅱ-1、施策体系①「雨水管整備の推進」中の3事業は全て評価が○となっている。実施内容を見ると、3事業の達成度の重みが異なるように思えるが、どのように評価をしたのか。	【アクションプラン（2012～2016年度）の評価】 各事業の進捗状況の結果について、 ①3段階評価から4段階評価へ変更した。 ②39ある事業を「数値目標が設定されている事業」「数値以外の目標が設定されている事業」「具体的な目標が設定されていない事業」の3つのグループに分け、それぞれのグループについて評価基準を明確にした。	資料2 4ページ																				
2	3段階（◎、○、△）の評価について、評価基準がわかりづらいのでは。×を含めた、4段階評価等も検討してはどうか。																						
3	各事業の進捗状況の結果について、具体的な目標値の有無によって集計を分けてはどうか。																						
		<table><tr><td></td><td>数値目標が 設定されている事業</td><td>数値以外の目標が 設定されている事業</td><td>具体的な目標が 設定されていない事業</td></tr><tr><td>◎</td><td>110%以上</td><td>目標以上</td><td>発展</td></tr><tr><td>○</td><td>90%以上110%未満</td><td>目標どおり</td><td>維持可</td></tr><tr><td>△</td><td>50%以上90%未満</td><td>目標未満</td><td>維持不可</td></tr><tr><td>×</td><td>50%未満</td><td>未実施</td><td>未実施</td></tr></table>		数値目標が 設定されている事業	数値以外の目標が 設定されている事業	具体的な目標が 設定されていない事業	◎	110%以上	目標以上	発展	○	90%以上110%未満	目標どおり	維持可	△	50%以上90%未満	目標未満	維持不可	×	50%未満	未実施	未実施	
	数値目標が 設定されている事業	数値以外の目標が 設定されている事業	具体的な目標が 設定されていない事業																				
◎	110%以上	目標以上	発展																				
○	90%以上110%未満	目標どおり	維持可																				
△	50%以上90%未満	目標未満	維持不可																				
×	50%未満	未実施	未実施																				
4	施策毎の総合評価について、各事業の評価結果を同じページで示した方が根拠が明確になるのではないかと。また、全体的に文字が多いため、サブタイトルを付ける等の工夫が必要である。（ビジュアルをよくする。）	【アクションプラン（2012～2016年度）の評価】 総合評価の根拠を明確にするため、各施策に該当する全事業の評価及び評価根拠を同じページに記載した。 施策毎の評価を4つの章から構成するよう変更し、図や写真等も追加した。	資料2 8ページ （9～22ページ）																				
5	施策Ⅰ-2「河川の水質向上の貢献」の評価について、高度処理化率ではなく、河川水質等を目標とすべきではないかと。また、下水道PRIについても、市民の満足度等を評価してはどうか。	①【アクションプラン（2012～2016年度）の評価】 市内主要河川の水質状況の推移を示し、傾向を分析した。 ②【アクションプラン（2017～2021年度）】 施策Ⅲ-2、小施策②「サービスの向上に向けた取り組み」におけるアウトカム目標を「イベント来場者の下水道事業についての理解度 80.0%以上」とした。	①資料2 12ページ ②資料4 18ページ																				
6	財務分析について、歳入・歳出という大きな枠だけではなく、コストに関する類似団体等との比較が必要ではないかと。	【アクションプラン（2012～2016年度）の評価】 総務省が公表している「下水道事業比較経営診断表」のデータを用いて類似団体との比較や分析を行った。	資料2 22ページ																				
7	次期のアクションプランでは、可能な限り数値目標（アウトカム目標）を明確にする必要があるのではないかと。	【アクションプラン（2017～2021年度）】 15ある小施策のうち14に数値目標（アウトカム目標）を定めた。また、35ある事業それぞれについて、アウトプット目標を明確にした。	資料4 3ページ （5～18ページ）																				

事業の進捗状況

<修正前>

具体的な目標が記述されている事業	
分類	内容
◎	目標を上回る取り組みができた
○	目標の取り組みができた
△	目標の取り組みができなかった
具体的な目標が記述されていない事業	
分類	内容
◎	2012年度からの取り組みを発展させている
○	2012年度からの取り組みを維持できている
△	2012年度からの取り組みを維持できていない

変更点

- ① 設定されている目標の種類により、事業のグループ分けを見直し
- ② 3段階評価 → 4段階評価
- ③ 数値目標が設定されている事業について、評価基準(目標達成率)を明確化

<修正後>

数値目標が設定されている事業	
分類	内容
◎	目標達成率110%以上
○	目標達成率90%以上110%未満
△	目標達成率50%以上90%未満
×	目標達成率50%未満
数値以外の目標が設定されている事業	
分類	内容
◎	目標を上回る取り組みができた
○	目標とおりの取り組みができた
△	目標とおりの取り組みができなかった
×	目標の取り組みが実施できなかった
具体的な目標が設定されていない事業	
分類	内容
◎	従来からの取り組みを発展させた
○	従来からの取り組みを維持できた
△	従来からの取り組みを維持できなかった
×	従来からの取り組みを実施できなかった

施策毎の評価

<修正前>

施策毎の評価	
施策	評価
施策Ⅰ-1 住環境の改善	◎
施策Ⅰ-2 河川の水質向上への貢献	△
施策Ⅰ-3 地球温暖化対策と資源の循環利用	○
施策Ⅱ-1 浸水対策の推進	○
施策Ⅱ-2 地震対策の推進	○
施策Ⅲ-1 効率的・効果的な維持管理の推進	○
施策Ⅲ-2 持続可能な下水道財政の確立	○

各事業の評価結果を記載することにより、施策の総合評価の根拠を明確化

<修正後>

他自治体の状況や社会環境等を踏まえ、評価

3. 施策目標に対する評価

4. 今後の方向性

経費回収率について

<修正前>

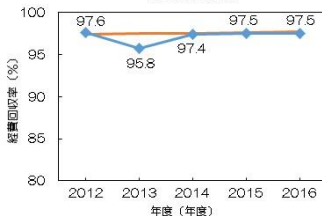


図30 経費回収率の推移

<修正後>



図30 経費回収率の推移

$$\text{経費回収率} = \frac{\text{下水道使用料} - \text{下水道使用料対象経費(維持管理経費+資本費)}}{\text{下水道事業で行う全事業経費} - \text{一般会計(税金)で負担すべき経費}} \times 100$$

下水道事業で行う全事業経費 — 一般会計(税金)で負担すべき経費
【雨水に係る経費及び汚水に係る経費の一部】

2012年度の新公会計制度導入に伴い、明確化

5ヶ年の評価 総まとめ

施策	総合評価
施策Ⅰ-1 住環境の改善	◎
施策Ⅰ-2 河川の水質向上への貢献	△
施策Ⅰ-3 地球温暖化対策と資源の循環利用	○
施策Ⅱ-1 浸水対策の推進	○
施策Ⅱ-2 地震対策の推進	○
施策Ⅲ-1 効率的・効果的な維持管理の推進	○
施策Ⅲ-2 持続可能な下水道財政の確立	○

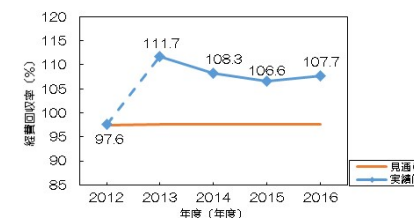


図30 経費回収率の推移

事業の取り組み状況

→下水道ビジョンで定めた基本理念及び3つの基本方針の実現に向けて、概ね目標どおり達成

財政見通しと決算の比較

→事業の進捗により多少の変動はあるものの、見直しと近い結果

経費回収率

→5ヶ年を通じて100.0%程度を維持

計画に沿った無理のない経営を行うことができた